

## 地域福祉活動計画の策定に当たって

今日、少子・超高齢化の進行や、働き方の広がりや生活スタイルの変化、多様化する価値観の中では、近所付き合いや人間関係ができず、地域の連帯感も育ちにくくなっています。このような中、多様な生活課題が顕在化してきています。



住み慣れた「鶴ヶ島」で自分らしく、安心して暮らしていくためには、生活の拠点である地域住民同士が支え合い、事業者や団体、機関が連携し協働していくことにより実現できるものです。

鶴ヶ島市社会福祉協議会では、平成23年に小学校区を地域支え合いの基本エリアとした「小地域活動の組織化構想」をまとめ、「支え合いの仕組みづくり」を推進してまいりました。

「地域福祉計画」は、「住民参加や福祉の総合的推進」の基盤と体制を推進していくものであり、「地域福祉活動計画」は、市の計画を住民の活動計画として具体化していくものです。

このまちに暮らす一人ひとり誰もが安心していきいき暮らせるよう、この計画を市民の皆様と一緒に推進してまいりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、この計画の策定に当たり、ご尽力いただきました地域福祉審議会及び地域福祉活動計画策定委員会委員の皆様をはじめとして、アンケート等ご協力くださいました多くの市民の皆様に心より感謝を申し上げます。

平成29年3月

社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会  
会長 成瀬 宥一